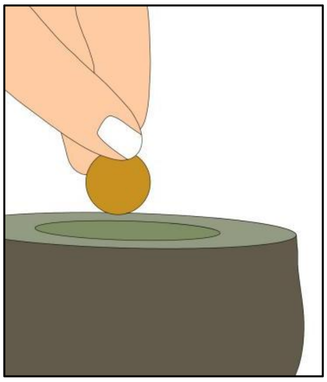


キリスト教における施しの習慣

施し — 貧しい人々に与えられる衣類、食料、または金銭

福音書

人に見られるために、人前で施しをしないように気をつけなさい。そうしなければ、天におられるあなたがたの父から報いを受けることはないでしょう。ですから、施しをするときは、偽善者たちが会堂や街路で人から褒められるためにするような、ラッパを吹いてはいけません。まことに、あなたがたに言います。彼らはすでに報いを受けています。しかし、あなたが施しをするときは、右の手がしていることを左の手に知られないようにしなさい。そうすれば、あなたの施しは隠れて行われるでしょう。隠れたところを見ておられるあなたの父は、あなたに報いてくださるでしょう。マタイによる福音書 6:1-4

イエスは答えて言われた。「ある人がエルサレムからエリコへ下って行ったとき、強盗に襲われ、着物をはぎ取られ、傷つけられ、半死半生のまま放置されて去って行った。たまたま、ある祭司がその道を下って来たが、その人を見ると、道の反対側を通って行った。同様に、レビ人もその所に来て、その人を見て、道の反対側を通って行った。ところが、あるサマリア人が旅の途中で、その人のいる所に来た。その人を見ると、かわいそうに思い、近づいて傷の手当てをし、油とぶどう酒を注ぎ、自分のろばに乗せて宿屋に連れて行き、介抱した。翌日、出発するときに、二デナリオンを取り出して宿屋の主人に渡し、『この人の世話をしてください。もしそれ以上費用がかかったら、私が戻って来たときに払います』と言った。さて、この三人のうち、強盗に襲われた人の隣人だったのは誰だと思うか。彼は「彼を憐れんだ人です」と答えた。するとイエスは彼に言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」ルカによる福音書 10:30-37

むしろ、あなたがたが持っているものの中から施しをしなさい。そうすれば、見よ、あなたがたにとってすべてのものが清くなる。ルカによる福音書 11:41

持ち物を売り、施しをしなさい。朽ちることのない袋、尽きることのない天の宝を蓄えなさい。そこには盗人も近づかず、虫も食い荒らさない。あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるのだから。ルカによる福音書 12:33-34

行為

さて、ペテロとヨハネは、祈りの時間である午後3時頃、一緒に神殿に上った。すると、生まれつき足の不自由な男が運ばれてきた。彼は毎日、美しい門と呼ばれる神殿の門のところに置かれ、神殿に入る人々に施しを求めていた。その男は、ペテロとヨハネが神殿に入ろうとしているのを見て、施しを求めた。ペテロはヨハネと共に彼に目を留め、「私たちを見なさい」と言った。男は何かをもらえると思って、彼らに注意を払った。するとペテロは言った。「金銀は持っていませんが、私が持っているものをあなたにあげましょう。ナザレのイエス・キリストの名によって、立ち上がって歩きなさい。」そしてペテロは彼の右手を取って起こした。するとたちまち、彼の足と足首の骨に力がみなぎった。彼は飛び上がって立ち上がり、歩き、彼らと共に神殿に入り、歩き、飛び跳ね、神を賛美した。使徒行伝 3:1-8

信じた群衆は心を一つにし、思いも一つであった。だれも自分の持ち物を自分のものだとは言わず、すべてを共有していた。使徒たちは大いなる力をもって主イエスの復活を証しし、彼らすべてに大きな恵みが注がれた。彼らの間には、困窮している者は一人もいなかった。土地や家を持っている者は皆それを売り、売った代金を持ってきて使徒たちの足元に置いた。そして、必要に応じて各人に分配された。使徒たちからバルナバ（「慰めの子」という意味）と呼ばれていたヨセは、レビ人でキプロス出身であった。彼は土地を持っていたので、それを売って代金を持ってきて使徒たちの足元に置いた。使徒行伝 4:32-37

さて、ヨッパにタビタという名の弟子がいた。これは訳すとドルカスということになる。この女は善行と施しに満ちていた。（使徒行伝 9:36）

カイサリアにコルネリウスという人がいた。彼はイタリア隊と呼ばれる部隊の百人隊長で、敬虔な人で、家族全員と共に神を畏れ、人々に多くの施しを与え、常に神に祈っていた。ある日、彼は昼の九時頃、幻の中で神の天使が彼のところに来て、「コルネリウス」と呼びかけるのを見た。彼は天使を見ると恐れて、「主よ、何でしょうか」と言った。天使は彼に、「あなたの祈りと施しは、神の御前で記念として挙げられた」と言った。使徒行伝 10:1-4

コルネリウスは言った。「四日前からこの時まで断食していました。そして九時、家で祈っていると、見よ、輝く衣を着た人が私の前に立って、『コルネリウスよ、あなたの祈りは聞き届けられ、あなたの施しは神の御前で記憶された』と言いました。」 使徒行伝 10:30-31

わたしはあなたがたにすべてのことを示し、このように労苦して弱い人々を支え、主イエスの言葉を心に留めるように教えました。主は「受けるよりも与える方が幸いである」と言われました。（使徒行伝 20:35）

こうして私は、神に対しても人に対しても、常に良心に咎めがないように努めています。さて、長年の歳月を経て、私は自分の国に施しと献げ物を携えてやって来ました。（使徒行伝 24:16-17）

盗んだ者はもう盗んではならない。むしろ、自分の手で良い仕事をして、困っている人に分け与えることができるようにしなさい。（エフェソの信徒への手紙 4:28）

外典

私トビトは、生涯を通して真実と正義の道を歩み、アッシリアの地ニネベへ私と共に来た同胞と民に多くの施しを行った。（トビト記 1:3）

エネメッサルの時代に、私は同胞に多くの施しを与え、飢えた者にパンを、裸の者に衣服を与えた。また、私の同胞で死んでいる者やニネベの城壁の周囲に投げ捨てられている者を見かけると、私は彼を葬った。トビト記 1:16-17

あなたの財産の中から施しを与えなさい。施しを与えるときには、目をうらやんではならず、貧しい者から顔を背けてはならない。そうすれば、神の顔はあなたから背けられることはない。もしあなたが豊かに持っているなら、それに応じて施しを与えなさい。もしあなたが少ししか持っていないなら、そのわずかなものに応じて施すことを恐れてはならない。あなたは、必要の日に備え、自分のために良い宝を蓄えているのだから。施しは死から救い出し、闇に陥ることを許さないからである。施しは、いと高き方の御前でそれを与えるすべての人にとって良い贈り物である。トビト記 4:7-11

あなたのパンを飢えた者に、あなたの衣服を裸の者に与えなさい。あなたの豊かなものに応じて施しを与えなさい。施しを与えるとき、あなたの目はねたんではならない。トビト記 4:16

祈りは断食と施しと義と共に行うと良い。少しの義は、多くの不義よりも優れている。施しは金を蓄えるよりも良い。施しは死から救い出し、すべての罪を清めるからである。施しと義を行う者は命に満たされる。（トビト記 12:8-9）

こうしてトビトは神を賛美し終えた。彼は五十八歳の時に視力を失ったが、八年後に視力が回復した。彼は施しをし、主なる神への畏れを増し加え、神を賛美した。トビト記 14:1-2

そして私を丁重に葬り、お前の母も私と共に葬ってくれ。だが、ニネベにはもう長く留まってはならない。わが子よ、アマンが自分を育ててくれたアキアカルスをどのように扱ったか、光から闇へと彼を連れ出し、そして再び彼に報復したことを思い出しなさい。アキアカルスは救われたが、アマンは報いを受けた。彼は闇へと下っていったのだ。マナセは施しを与え、彼のために仕掛けられた死の罠から逃れた。しかしアマンは罠にかかり、滅びた。それゆえわが子よ、施しが何をするか、そして義がいかに人を救うかをよく考えな

さい。これらのことを言い終えると、彼は床で息を引き取った。158 歳であった。そして彼は丁重に葬られた。トビト記 14:10-11

水は燃え盛る火を消し、施しは罪を贖う。シラ書 3:30

祈りを捧げるときには、意気消沈してはならない。また、施しを怠ってはならない。（シラ書 7:10）

常に悪事に携わる者、施しをしない者には、良いことは訪れない。（シラ書 12:3）

人の施しは彼にとって印章のようなものであり、彼は人の善行を瞳のように大切にし、息子や娘に悔い改めを与えるであろう。シラ書 17:22

施し物を倉にしまいなさい。そうすれば、あらゆる苦難から救われるでしょう。（シラ書 29:12）

金を愛する者は義と認められず、堕落を追い求める者はそれによって十分すぎるほどの報いを受ける。金は多くの者を破滅させ、彼らの滅亡は目前に迫っていた。金に捧げ物をする者にとって、金はつまずきの石であり、愚か者は皆、金と共に捕らえられる。傷のない富める者は幸いである。金を追い求めなかった者は誰か。私たちは彼を幸いな者と呼ぶ。なぜなら、彼は民の間で素晴らしいことを行ったからである。試練を受け、完全であると認められた者は誰か。ならば、彼は誇るべきである。罪を犯す可能性があったのに罪を犯さなかった者は誰か。悪を行う可能性があったのに悪を行わなかった者は誰か。彼の財産は確立され、会衆は彼の施しを告げ知らせるであろう。シラ書 31:5-11

善行に報いる者は上等の小麦粉を捧げ、施しを与える者は賛美のいけにえを捧げる。シラ書 35:2

兄弟と助けは苦難の時に役立つが、施しはそれら両方よりも大きな救いをもたらす。シラ書 40:24

聖書の失われた書物

祝福され、永遠に栄光に満ちた聖母マリアは、ダビデ王家の血筋を受け継ぎ、ナザレの町で生まれ、エルサレムの主の神殿で教育を受けました。父の名はヨアキム、母の名はアンナでした。父の家系はガリラヤ地方のナザレの町出身で、母の家系はベツレヘム出身でした。彼らの生活は主の御前で質素で正しく、人々の前では敬虔で非の打ちどころのないものでした。彼らは財産を三つに分け、一つは神殿と神殿の役人たちに、もう一つは旅人や貧しい人々に分け与え、残りの一つは自分たちと家族のために取っておきました。（聖母マリアの誕生の福音書 1:1-4）

ヨアキムよ、恐れるな、私を見て動揺するな。私は主の天使で、主によってあなたに遣わされたのだ。あなたの祈りは聞き届けられ、あなたの施しは神の御前で天に昇ったことをあなたに知らせるために来たのだ。（聖母マリアの誕生の福音書 2:3）

その後、天使は妻アンナに現れて言った。「恐れるな。また、あなたが見ているものを霊だと思ってはならない。私はあなたの祈りと施しを神にささげた天使であり、今、あなたに娘が生まれることを知らせるために遣わされたのだ。その娘はマリアと呼ばれ、すべての女性の中で最も祝福されるであろう。」（聖母マリアの誕生の福音書 3:1-2）

ヘルマスの牧者の第三の書 2:1-13（類比）
1 私が野原を歩いて行き、ニレの木とぶどうの木を眺め、それらの実について思いを巡らせていると、天使が私の前に現れて私に言った。「あなたは長い間、何を考えているのですか。」
2 そこで私は彼に言った。「主よ、私はこのぶどうの木とこのニレの木のことを考えています。その実が美しいからです。」すると彼は私に言った。「この二本の木は、神のしもべたちへの模範として定められているのです。」
3 そこで私は彼に言った、「先生、あなたが言及されたこれらの木々のパターンはどのようなものなのか知りたいのです。」 彼は言った、「聞きなさい。このぶどうの木とこのニレの木が見えますか。」 私は言った、「先生、見えます。
4 彼は言う。「このぶどうの木は実を結ぶが、ニレの木は実を結ばない。しかし、このぶどうの木は、このニレの木に植えられ、支えられていなければ、多くの実を結ばないだろう。地面に横たわっていれば、ニレの木にぶら下がっていないので、悪い実しか結ばないだろう。ところが、ニレの木に支えられているので、ぶどうの木自身のためにも、ニレの木のためにも実を結ぶのだ。」
5 そこで、ニレの木はぶどうの木よりも少ない実ではなく、むしろ多くの実をつけることがわかったでしょう。先生、どうしてニレの木はぶどうの木よりも多くの実をつけるのですか、と私は尋ねました。なぜなら、ぶどうの木はニレの木に支えられているので、たくさんの良い実をつけるからです。一方、ぶどうの木が地面に横たわっていると、実はほとんどつかず、しかも質の悪い実しかつけないのです。
6 このたとえは、神のしもべたちに示されているものであり、富める者と貧しい者を表しています。私は、「主よ、これを私に明らかにしてください」と答えました。すると主は、「聞きなさい。富める者は財産を持っているが、主に対しては貧しい。なぜなら、彼は自分の富にとらわれ、主に祈ることは少なく、その祈りも怠惰で力がないからである」とおっしゃいました。
7 それゆえ、金持ちが貧しい人に自分の欲しいものを差し出すとき、貧しい人は金持ちのために主に祈ります。すると、神は金持ちにすべての良いものを与えてくださいます。それは、貧しい人が祈りに富んでおり、その願いが主にあって大きな力を持つからです。
8 すると、金持ちは貧しい人にあらゆるものを与えてやる。なぜなら、自分が主に聞かれていることを知っているからである。そして、ますます喜んで、疑うことなく、貧しい人が必要とするものを与え、何一つ欠けることがないように気を配る。
9 貧しい人は富める人のために主に感謝する。なぜなら、彼らはどちらも主から働きを授かっているからである。

10 それで、人々はニレの木は実を結ばないと考えている。彼らは、ニレの木がぶどうの木に加わると、ぶどうの木自身とニレの木の両方にとって、二倍の実りをもたらすことを知らないし、理解もしていない。
11 同様に、貧しい人々が富める人々のために主に祈ると、主はそれを聞き入れ、彼らの富は増し加わる。なぜなら、彼らは自分の富を貧しい人々に分け与えるからである。こうして、彼らは互いの善行にあずかる者となるのである。
12 それゆえ、これらのことを行う者は誰でも、主に見捨てられることはなく、命の書にその名が記されるであろう。
13 富んでいる人が、自分の富が増えていることに気づくのは幸いです。なぜなら、それを自覚している人は、他の人にいくらか仕えることができるからです。

忘れられたエデンの書

ゼブルンの遺訓 2:1-21
1 さて、子どもたちよ、主の戒めを守り、隣人を慈しみ、すべての人に憐れみをかけなさい。人だけでなく、獣にも。
2 こうしたことすべてゆえに、主は私を祝福してくださった。兄弟たちが皆病気になったとき、私は病気にならずに済んだ。主は一人ひとりの目的を知っておられるからである。
3 だから、わが子らよ、心に憐れみを持ちなさい。人が隣人に対して行うように、主もその人に対して行うからである。
4 私の兄弟たちの息子たちはヨセフのせいで病気になり、死んでいった。彼らは心に慈悲を示さなかったからである。しかし、私の息子たちは病気にならずに済んだ。あなたがたも知っているとおりである。
5 そして、私がカナンの地の海岸にいたとき、父ヤコブのために魚を捕りました。多くの人が海で窒息死しましたが、私は無傷でした。
6 私は最初に舟を造って海を航海した者です。主が私に理解と知恵を与えてくださったからです。
7 そして私はその後ろに舵を下ろし、真ん中に立てた別の木の板の上に帆を張った。
8 そして私はその船で海岸沿いを航海し、父の家のために魚を捕り、エジプトに着いた。
9 そして私は、思いやりの心から、獲物を見知らぬ人すべてと分け与えた。
10 また、もしその人が旅人であったり、病気の人であったり、年老いていたりしたら、私は魚を茹でてよく調理し、必要に応じてすべての人に与え、彼らと共に悲しみ、彼らを憐れみました。
11 それゆえ、主は私が魚を捕るとき、豊かな魚で私を満たしてくださいました。隣人と分かち合う者は、主から幾倍もの恵みを受けるからです。
12 私は五年間魚を捕り、出会ったすべての人にそれを分け与え、父の家のすべての人に十分な食料を与えました。
13 夏には魚を捕り、冬には兄弟たちと共に羊を飼った。
14 では、私が何をしたかをあなた方に告げましょう。
15 私は冬に裸で苦しんでいる人を見て、彼を哀れに思い、父の家からこっそりと衣服を盗み出し、苦しんでいる彼に与えました。

16 それゆえ、わが子らよ、あなたがたは、神があなたがたに与えてくださったものから、
ためらうことなくすべての人に憐れみと慈しみを示し、すべての人に善意をもって施しな
さい。
17 もしあなたがたに施しを与えるだけの資力がないなら、憐れみの心をもって彼を憐れみ
なさい。
18 私は、自分の手が彼に必要なものを与えることができなかったことを知っています。そ
して、私は彼と共に七スタディオンを泣きながら歩き、彼を憐れんで胸が締め付けられま
した。
19 だから、わが子たちよ、あなたがたもすべての人に対して憐れみと慈しみを持ちなさい。
そうすれば、主もあなたがたを憐れみ、慈しんでくださるでしょう。
20 終わりの日に、神は地上に憐れみを注ぎ、憐れみの心を見いだす所には、どこにでも住
まわれるからです。
21 人が隣人に対して抱く憐れみの度合いに応じて、主もその人に対して憐れみの度合いを
示される。